豊富な郷土芸能を生かし、 まつりが幕開け

### 北上・砂ちのく芸能度つ切

### -60回の軌跡=

第60回の節目を迎えた北上・みちのく芸能まつり。今年も新型コロナウイルス感染症の影響により開催が見送られましたが、 民俗芸能の魂を伝え続けてきた60回の軌跡を写真と共にご紹介します。

送考資料:北上・みちのく芸能まつり実行委員会「炎の伝承 "北上・みちのく芸能まつりの軌跡"」(平成11年))

北六大まつりの一つに育てようと力が注がれました。

第4回(40年)は県外からの団体も初めて参加。

入り込み数は約3万7千人と伸

オープンした県内初の本格的ホール「北上市民会館

第3回(39年)からは昼夜2回公演を実施。

同年に

、会場を移し、仙台の七夕、青森のねぶたなど、東

び悩んでいました。容が充実しつつも、



鬼剣舞と鹿踊が手書きで描 かれた第1回のポスター

大きく超えました。



北上商業高校校庭のまつりス テージ



まつり前に行われた 出演団体によるパ レード(第2回)

## 内を中心とした11団体が出演しました。 県、県観光連盟、市、市観光協会が共催で行い、市手の豊富な郷土芸能を観光資源として活用しようと、修大学北上高校)校庭を会場に幕を開けました。岩ちのく郷土芸能まつり」として、北上商業高校(現専工上・みちのく芸能まつりは昭和37年8月16日、「み北上・みちのく芸能まつりは昭和37年8月16日、「み

市民が参加できるさんさ踊りパレード(第8回)



メインイベントの鬼剣 舞大群舞(第10回)

# 大改革の結果、入り込み数10万人超を達成

を集客。第10回(44年)では、入り込み数が10万人を事前PR映画の制作などを行い、2日間で約10万人で、小上として、小鳥崎さんさ踊りを基本とした「さべントとして、小鳥崎さんさ踊りを基本とした「さべントとして、小鳥崎さんさ踊りを基本とした「さべったとして、小鳥崎さんさ踊りを基本とした「さべったとして、小鳥崎さんさ踊りを基本とした「さべったとして、小鳥崎さんさ踊りを基本とした「さべったとして、小鳥崎さんさ踊りを基本とした「さべった。



令和3年8月27日

東北各県から招致、出演団体が増加

「みちのく」の名にふさわしいまつりとなるよう、

の年から名称が「北上 のく芸能まつり」となった第14 回のプログラム



秋田県の綴子大太鼓(第13回)



十字路商店街での市民パレ

さコンテストを初開催。ミス・準ミスの合わせて3

第20回(56年)では、節目を記念してミス北上さん

へが市民パレードの先頭に立ち花を添えました。

性のあるまつりとなりました。

する儀式を追加。初日の護摩たき法要の火は、

まつ

第19回(55年)から、極楽寺でまつりの元火を採火

会場、最終日の灯ろう流しへと移され、ストーリー

もたちが元気な掛け声を響かせました。

また、こども剣舞みこしをこの年から実施し、 演希望も高まって、参加団体が増えていきました。 第16回(52年)には東北各県から芸能団体を招致。出

子ど

称を現在の「北上・みちのく芸能まつり」としました。

第15回(51年)からは会場を拡大。諏訪神社での神

によって、当時の国鉄(現JR各社)が「東北六大ま

つり」の一つに指定。そして第14回(50年)には、名

第13回(49年)では巨大な太鼓で知られる綴子大太鼓

秋田県)を招き人気を呼びました。このような努力

では太刀や傘などの道具を使う古郡神楽(山形県)を

楽しい芸能でまつりをにぎわすため、第12回(48年)

カーニバルで初の海外公演を実施。同年の第11回は 全国を駆け巡り、昭和47年2月にはフランスのニース・

まつりがにぎやかになるにつれ、鬼剣舞の人気が

東北六大まつり」に指定

その披露を兼ねて盛大に開催されました。

楽公演や十字路商店街での公演が始まりました。

極楽寺での護摩たき法要



上さんさコンテスト(第20回)

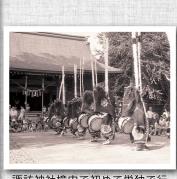


にわたるようになり、第21回(57年)からまつりを夜

県内外の芸能団体が出演するなど、内容が多方面

## 初代ミス(右)・準ミ

東北地方以外から初めて 参加した愛媛県の牛鬼 (第23回)



諏訪神社境内で初めて単独で行 われた鹿踊公演(第24回)

# 円熟期を迎え、 まつり趣旨への理解広がる

います。 められていました。これに伴い、 他県のまつりとは日程が違っていたため、 間へ変更。しかし、東北六大まつりの指定を受けた 型に切り替え、日程も8月14日から16日までの3日 趣旨が市外の人たちにも次第に理解されるようになっ 訪れる観光客も多くなり、民俗芸能を守るまつりの 魅了し、後年の詩歌の森公園での公演につながって 踊の単独公演を諏訪神社境内で実施。大勢の観客を てきました。 上駅前や商店街での公演時間を延ばしました。 は、8月7日から9日までの日程で開催。また、 第25回(61年)は、 第24回(60年)は、 鬼剣舞と共に人気を二分する鹿 小グループの団体や臨時列車で 第22回(58年)から 変更を求

第21回~25回 (57年~61年)

## 「北上おでんせ」発表、新北上市が発足

た、現在も踊られている「北上おでんせ」が発表され た帆船「 艜 」が復元され、まつりの前日に進水。ま 第26回(62年)は、かつて北上川川岸港をにぎわせ

権現舞の同時公演などがこの年から行われました。 崎城跡での鬼剣舞大供養や、市内全神楽団体による 年)は、109団体が出演するなど盛大に開催。岩 中国雲南省の少数民族舞踏団が出演しました。 第27回(63年)では、初の海外の芸能団体として 新北上市が発足した年で、節目の第30回(平成3

また、二子鬼剣舞の指導を受けた二子流東京鬼剣舞 が初めて公演を行いました。 招いた「三門峡獅子舞」がまつりを盛り上げました。 第31回(4年)は、 友好都市の中国・三門峡市から

インドネシア共和国のダ

ルマサンティ舞踊団(第

36回)

友好都市の中国・三門峡 市から招いた三門峡獅子 舞(第31回)

主会場の駅前通りは多彩な民俗芸能であふれました。 和国のダルマサンティ舞踊団などを海外から招致し、 芸術専門大学を、第36回(9年)にはインドネシア共 **玉樹民族舞踊団を、第35回(8年)には韓国のソウル** 

芸能公演では、

第3回(6年)には中国・青海省の



市内全神楽団体によ る権現舞の同時公演

(第30回)

# サンバや海外団体を招致し多彩なまつりに

サンバ」を初開催。公演会場も新たに詩歌の森公園 鬼の仮装をした市民や観光客が参加できる「鬼っこ ようと第32回(5年)は浅草サンバチームを招待しま さんさ」に代わり、好評の鬼剣舞パフォーマンスを と鬼の館が加わりました。第34回(7年)では「北上 した。第3回(6年)は、サンバのリズムに合わせて ONI。ダンス」と命名して行いました。 市民パレードを見ても踊っても楽しめるものにし



岩手インターハイで活躍した高校生 -ド(第38回) 加した市民パレー



楽しく踊れると好評だった日高見甚 句(第40回)



### 鬼の仮装でONI<sup>2</sup>回) ダンスに参加する市民(第34

## 新世紀の始まりを祝う鮮やかな花火

第30~43回 (11年~16年)

第38回(11年)では、同年に開催された岩手イン

げられました。 事を振り返りながら色鮮やかな花火が盛大に打ち上 ターハイで活躍した高校生が市民パレードに参加。 祭典,0「ハッピーミレニアム」と題し、20世紀の出来 西暦2000年を迎えた第39回(12年)は、音と光の

らは豫劇団を招いたほか、市民パレードでは「日高 見甚句」が初お目見えしました。 全演目公演が、市民会館と詩歌の森公園で行われま 芸能の見どころを紹介しました。中国・三門峡市か ンポジウムが開かれ、鬼剣舞などの実演により民俗 第41回(14年)は、 第40回(13年)には、北上駅西口広場で民俗芸能シ 初の試みとして鬼剣舞と鹿踊の

西暦2000年を祝い盛大に打ち上 げられた花火(第39回)

保存伝承活動の拡大と震災復興を祈念

炎天下の中で行われた詩歌の森公 園での鹿踊公演(第47回)



釜石市の平田虎舞(第50回)

感染症の拡大状況を踏まえ、

開催が見送られました。

対策を徹底した上での開催を模索してきましたが

大を受けて、まつり史上初の中止に。キタカミトリ

縄県石垣市の八重山民俗芸能などが出演しました。

奥州両市の念仏系剣舞のほか、

第5回(2年)は、

新型コロナウイルス感染症の拡

ノルアニバーサリー2021を飾る第6回(3年)は

け継がれていきます。

のく芸能まつり。これからもその魂は次の世代へ受

民俗芸能の宝庫である当市を象徴する北上・みち



### 東日本大震災からの復興を願い開 催された第50回のポスター

らの復興を願い、「がんばろう!岩手東北の魂、集う」

東北の国指定芸能団体や沿岸地域

避難者を招待しました。

要を初日の午前中に変更しました。

第48回(21年)は、

前夜祭的な意味もあった護摩法

第50回(23年)は、

同年に発生した東日本大震災か

日の開催に変更し、

第43回(16年)から行われている

日程も8月第1土・日・月曜

集う」をテーマに開催。

第45回(18年)は、

記念のまつりとして「東北の魂

こくらホール公演を2日間に充実させました。

をテーマに開催。

の芸能団体を招くとともに、

平成24年の高校総合文 化祭郷土芸能部門で最 優秀賞に輝いた北上翔 南高校鬼剣舞部(第51 回)

場として定着するなど、民俗芸能の保存伝承活動が

商店街公演は、市内幼稚園や保育園の育成団体の

ムがりを見せるようになりました。

## 局校生が出演、 令和へ受け継がれる魂

曜日の開催に変更。第55回(28年)では「高校生郷土

第52回(25年)からは、日程を8月第1金・土・日

芸能フェスティバルinきたかみ」をさくらホールで

市内外の高校生が演技を披露しました。



-ド(第52回)



川岸保育園のかっぱ太鼓(第 53回)

### 第60回 市民パレード 動画を公開中

剣舞の系譜~」を開催。

中世の風流踊りに源流を持 「風流の饗宴~みちのく念仏

第58回(令和元年)は

第60回北上・みちのく芸能まつりのさくら ホール公演で上映を予定していた市民パレー ド動画を、YouTube のまつり公式チャンネル で公開しています。

演目は、北上おでんせと、27年ぶりの復活 となる小鳥崎さんさ踊り。市内7団体による 踊りをぜひご覧ください。

動画はこちらから→



遠野市の板澤しし踊り(第54回)



希望郷いわて国体・いわて大会の開催年に市民 パレードで踊られた「わんこダンス」(第55回)



岩泉高校による中野七頭舞 (第56回)



福島県のじゃんがら念仏(第 57回)



友好都市・沖縄県石垣市の八 重山民俗芸能(第58回)